

平成17年度 第1回市民企画事業補助金審査委員会 会議録

- 1 日 時 平成17年7月28日(木) 14:00~15:00
- 2 場 所 クリエイトホール第7学習室
- 3 出席者 委 員：西委員、山家委員、玉野委員、伊藤委員、前野委員  
事務局：市民活動推進部長、協働推進課長、松岡主査、渡辺主任、三浦
- 4 会議当日配付資料  
(資料1) 八王子市市民企画事業補助金交付要綱(新旧対照表)(案)  
(資料2) 市民企画事業補助金平成18年度補助対象事業募集要項(案)  
(資料3) 平成17年度市民企画事業補助金事務日程(案)  
(資料4) 平成18年度市民企画事業補助金交付応募の審査に関する取扱要領(案)  
(資料5) 平成17年度交付団体情報交換会の開催概要(案)

5 議事進行

- (1) 協働推進課長の進行により開会
- (2) 市民活動推進部長あいさつ
- (3) 各委員の自己紹介
- (4) 協働推進課長から事務局職員の紹介
- (5) 委員長、副委員長選任

事務局案を採択し選任 委員長 玉野委員  
副委員長 前野委員

以降は、玉野委員長が進行

- (6) 会議の公開について(事務局：協働推進課長)  
非公開：個々の採択事業の審査に関する会議  
公 開：それ以外の会議および公開プレゼンテーション
- (7) 18年度補助事業の募集について  
(資料1~2により事務局説明：三浦)
- (8) 審査及び日程について  
(資料3~4により事務局説明：三浦)

<質疑応答>

前野副委員長：この補助金制度と市の他の補助金との重複補助にならないよう担当課で審査してもらいたい。市民に誤解をまねくような形にはしないほしい。

玉野委員長：前回の審査で議論したとおり、担当課での確実なチェックが必要になる。実際問題なのは、

組織そのものではなくて、集っている人が同じで、団体の名前を変えて出してくる方が難しい。チェックしきれないのではないかと。

山家委員：資料2の3(2)の表現では、市の他の補助事業は良いのではないかととらえてしまう。

事務局：表現の方法については改善する

【表現方法についての改善案】

旧：国、地方自治体、市の外郭団体で実施している・・・

新：市、市の外郭団体、国や他の地方自治体で実施している・・・

玉野委員長：17年度の申請数はどのくらいか。

事務局：17年度応募44団体 採択34団体

17年度応募団体の中でプレゼン実施団体は32団体

玉野委員長：これ以上増えると審査の方法を考え直すことが必要になるだろう。

玉野委員長：要綱第15条(ポスター・チラシ等への本補助制度の表示について)に新たに追加した理由・経過があるのか。

事務局：団体によっては既に掲載しているの見受けられるが、文言がばらばらであったりする。本補助金制度を広く市民に知っていただくため、新たに加えた。

玉野委員長：委員の任期は1年間でよいのか。審査の流れ・経験を活かすのであれば2年間でひとつのサイクルとして考えるのが望ましいのでは。しかし、企業や学生は立場上困難だろうから、検討する必要がある。

事務局：現在は1年間の任期でお願いしている。複数年任期については、今後の検討課題とする。

(9) 17年度情報交換会について

(資料5により事務局説明：三浦)

<質疑応答>

玉野委員長：去年の参加者数は。

事務局：団体が24名、担当課が10名。今年は去年の倍以上の参加が見込まれる。

山家委員：一般市民の参加は可能か。

事務局：事業を運営・実施することについての情報交換の場なので、交付団体のみ対象としている。

伊藤委員：どのような団体が参加するのか。

事務局：17年度補助交付団体。後日資料を送付する。